学校番号	3025

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校新地理総合（帝国書院） 標準高等地図～地図で読む現代社会（帝国書院）						
副教材等	新地理総合ノート（帝国書院） 世界の諸地域 NOW2026　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グローバル化が進む現代社会において、環境問題や経済格差など地球的課題の解決と、防災・減災などに備えた持続可能な地域づくりへの考察をするためには、地理的事象を理解していないと前には進みません。知的な興味や関心を積極的に持って、着実に、そして楽しく、基本を大切にして地理を学んでいきましょう!

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代世界の諸課題と地域問題の解決への地理的アプローチが出来、自らの頭と手と足を使って、総括的に把握出来ることを到達目標とし、そのために地理の基礎的知識の習得します。
【思考力、判断力、表現力等】
さらに分からない点について自ら調べ、考え、発表し、常に考察できる視野を養います。
【学びに向かう力、人間性等】
パートナーシップで地球上の様々な課題を解決していく力を身につけます。平和と公正な社会を作っていくための一員になることが、理想です。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地図や統計、画動など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。さらに防災についてのハザ-ドマップを読図できる。また現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断している。そしてその過程や結果を適切に表現している。	国際社会に主体的現代社会の地理的事象に対する関心と課題意識を高めそれを意欲的に追究する。そして地域の人々や、世界市民としての責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地図でとらえる現代世界	・地図と地理情報システム ・結び付きを深める現代世界 ・日本の位置と領域、領土	a:地理情報と地図について、各時代の人々の世界観や地図の有用性などを理解し、その知識を身に付けている。 b: 地理情報と地図について、各時代の人々の世界観や地図の有用性などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代世界の諸地域に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し捉えようとしている。またそれらの地域に見られる地域的特色を身に付けている。 d:日本の位置や領域,排他的経済水域の特徴を身に付けている。	定期テスト(中間・期末) ノート提出 ワーク(問題集)提出	レポート(2回) 定期テスト(中間・期末) ノート提出 ワーク(問題集)提出	レポート(2回) 定期テスト(中間・期末) ノート提出

二学期	国際理解と国際協力	・世界文化の多様性と国際理解 (世界の地形と人々の生活) (世界の気候と人々の生活) (世界の言語・d 宗教と人々の生活) (歴史的背景と人々の生活) (世界の産業と人々の生活) ・地球的課題と国際協力 (複雑に絡み合う地球的課題) (地球環境問題) (資源・エネルギー問題) (人口問題) (食料問題) (都市・居住問題)	a:世界の生活文化、民族・宗教について、分布や民族と国家の関係などとともに民族、領土問題や、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身に付けている。 b:世界の生活文化、民族・宗教に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。また世界の地形、気候と生活文化、民族・宗教について、分布や民族と国家の関係などを系統地理的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の環境・資源エネルギー・人口・食料・都市と居住問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し捉えようとしている。さらに世界や地域について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。また現代世界の諸地域や身近な地域に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し捉えようとしている。	定期テスト(中間・期末) ノート提出 ワーク(問題集)提出	レポート(2回) 定期テスト(中間・期末) ノート提出 ワーク(問題集)提出	レポート(2回) 定期テスト(中間・期末) ノート提出

三学期	持続可能な地域づくりと私たち	・自然環境と防災 ・生活圏の調査と地域の展望	a:世界や地域の自然環境と防災に対する関心と課題意識を高めている。そして現代世界における日本の国土について、日本の領域、領土を歴史的背景を踏まえて、地理的な観点から理解し、その特色やわが国が抱える諸課題を理解し、その知識を身に付けている。 b:持続可能な地域づくりのための有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。また世界の環境・資源エネルギー・人口・食料・都市と居住問題などと関連させ、系統地理的に考察し、大観させ、その過程や結果を適切に表現している。 c:持続可能な地域づくりを意欲的に追究し捉えようとしている。	定期テスト(中間・期末) ノート提出 ワーク(問題集)提出	レポート(2回) 定期テスト(中間・期末) ノート提出 ワーク(問題集)提出	レポート(2回) 定期テスト(中間・期末) ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度